

# 平成30年度生野区の取組み 中間振り返り (まちの未来部会:抜粋分)

平成30年度生野区区政会議  
第2回まちの未来部会



平成30年10月30日(火)



# 目次

## 【 平成30年度 主な取組 】

- ・ ( 1 - 1 ) ものづくりの伝統を守り、受け継がれるために -----
- ・ ( 1 - 2 ) 空き家の利活用による新たな魅力づくり -----
- ・ ( 2 - 1 ) 地域活動協議会 ( まち協 ) の支援について -----
- ・ ( 2 - 2 ) 地域活動協議会 ( まち協 ) の自律運営促進について -----
- ・ ( 3 - 1 ) 「生野の魅力」の発掘・浸透 -----
- ・ ( 3 - 2 ) 区民のわがまち意識を育てる -----
- ・ ( 4 ) 生野区オリジナル婚姻届のデザイン募集について -----

# ( 1 - 1 ) ものづくりの伝統を守り、受け継がれるために

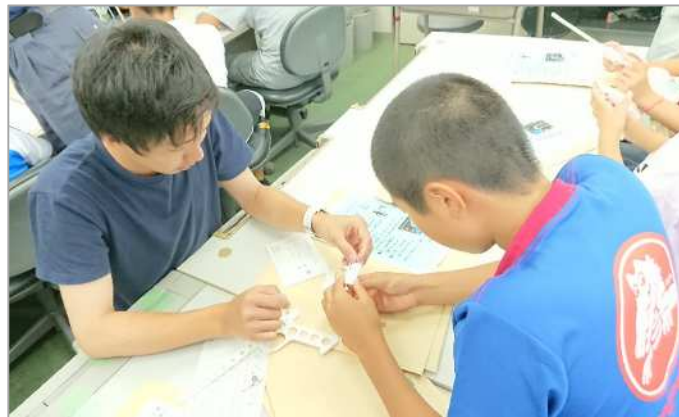
## 取組の進捗状況

区予算額 2,164千円

- ・ 生野工業高校生を対象とした**インターンシップの開催** 1回(8月8日・9日 3社、3名)
- ・ **ものづくり教室の開催** 1回(7月27日 34名)
- ・ **こども工作教室の開催** 1回(3月17日予定)
- ・ 芸術文化に親しむワークショップの開催 6回(12月開催予定)
- ・ 「ものづくり百景」の追加作成 6社(年度末見込)
- ・ 「ものづくり百景」を活用したPR 随時
- ・ 区HPの**ものづくりページのビュー数** 1,320件(8月末時点)



インターンシップ



ものづくり教室

## ( 1 - 1 ) ものづくりの伝統を守り、受け継がれるために

### 【業績目標】

- ・ インターンシップへの参加者数：10人以上
- ・ 区HPのものづくりページのビュー数：2,400件 / 年

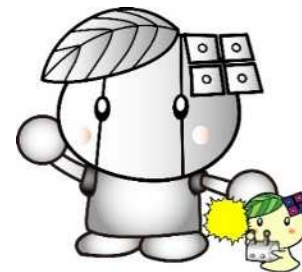
### 課題など

- ・ 少子高齢化、若者のものづくり離れにより後継者不足、技術の継承が困難な状況である
- ・ 地域活性の観点からも、住民のものづくり企業への理解度促進、ものづくりの担い手確保が困難な状況である

### 【今後の方向性】

小中高校生に向けてのイベントを通じて、**ものづくりの楽しさを知ってもらうきっかけづくり**を行う。

また、「生野ものづくり百景」を使って、**区内外へ「ものづくりのまち生野」を発信**していく。





## ( 1 - 2 ) 空き家の利活用による新たな魅力づくり

### 課題など

空き家の増加は、コミュニティの衰退やまちの魅力の低下など、地域の課題となっている。

一方、長屋については住みたい方も多く人気があるが、不動産市場には出てこない。

### 参考データ（平成25年住宅・土地統計調査）

- ・空家率 22.4%（3位/24区）
- ・その他の住宅 6,920（1位/24区）
- ・長屋率 16.7%（1位/24区）
- ・長屋の木造比率 16.1%（1位/24区）

その他の住宅とは、二次的・賃貸用・売却用以外の空き家を指す。

### 【今後の方向性】

引き続き、**新たな空き家のオーナーを発掘しながら、空き家活用プロジェクトへ繋げるとともに、地域と連携してまちづくりの一環として空き家等を活用した地域活性化に取り組む。**



## ( 2 - 1 ) 地域活動協議会 ( まち協 ) の支援について

### 取組の進捗状況

区予算額 32,174千円

#### 地域活動協議会補助金

- ・ 地域活動協議会補助金を交付 ( 5月 )
  - 活動費補助金 : 活動費のうち、  
補助金対象額の75%を補助
  - 運営費補助金 : 運営費のうち、  
補助金対象額の100%を補助



地域まちづくり協議会の取り組み例  
(子育てサロン)

#### 【業績目標】

各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じている区民の割合 : 40%

## ( 2 - 1 ) 地域活動協議会 ( まち協 ) の支援について

### 課題など

複雑多様化する市民ニーズに答えるとともに、地域コミュニティの活性化や地域課題の対応・解決に向けて、準行政的機能を有する地域まちづくり協議会が地域の実情に応じた具体的な活動を企画・実施することが求められている。

### 【今後の方向性】

引き続き、地域まちづくり協議会に対して財政的支援をすることにより、各地域の実情に即した**自律的、継続的かつ主体的な活動**ができるように支援していく。



( 各種事業 )



( 会議風景 )



## ( 2 - 2 ) 地域活動協議会 ( まち協 ) の自律運営促進について

### 取組の進捗状況

区予算額 14,556千円

#### 新たな地域コミュニティ支援事業

民間事業者の柔軟な立場やノウハウを活かせる中間支援組織を活用して、引き続き**地域まちづくり協議会の自主自律的な地域運営に向け支援**します。

- ・ 多様な地域活動との連携・協働に向けたネットワークづくりへの支援
- ・ 幅広い主体の発掘や新たな担い手の育成に向けた支援
- ・ 次世代につなげる地域活性化に向けた取り組みへの支援 など

#### 【業績目標】

地域活動協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合：80%以上

## ( 2 - 2 ) 地域活動協議会 ( まち協 ) の自律運営促進について

### 課題など

地域まちづくり協議会が自主自律的に地域運営ができるよう、「開かれた組織運営」と「会計の透明性」の確保にとどまらず、地域まちづくり協議会の事務局機能の充実や地域活動などを担う人材の掘り起こし・育成が不可欠な課題となっている。

### 【今後の方向性】

引き続き、**新たな担い手を発掘し、地域まちづくり協議会とつなぐ**ために、生野区の未来を想う交流会として「まちカフェ」を開催したり、まちづくりについて紹介する動画をSNSで発信するなど、新しい取り組みを進めていく。



まちカフェの参加者



まちづくり発信動画